

I 検討のねらいと経過

◇検討のねらい

- ・地域発展に特に重要な**人材像**
- ・望ましい**人材育成プログラム** ⇒ 短期的な取組項目、中長期的な検討項目を整理

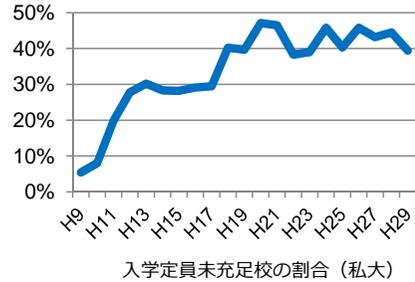
◇経過

- ・平成27年度（2回） 今後の基本的な考え方、地域における人材育成の現状
- ・平成28年度（4回） 地域発展に特に重要な人材像
- ・平成29年度（6回） 今後の取り組みの方向性

II 高等教育の現状

◇高等教育機関を取り巻く環境

- ・18歳人口の減少（H4：205万人⇒H29：120万人）
- ・私大の約4割が定員割れ、中小の4割前後は赤字
- ・十勝の大学・短大進学率は37.0%（現役）
- ・十勝の大学・短大収容率は11.3%（道内最低）



◇国の高等教育政策の動向

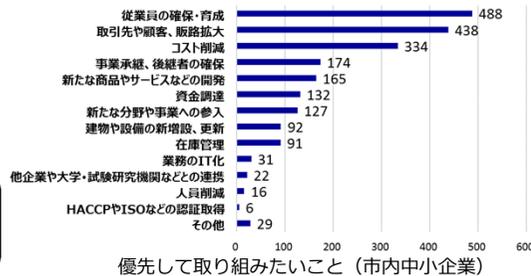
- ・専門職大学等の制度化
- ・地方大学・地域産業創生交付金の創設
- ・高等教育の将来像の検討（大学等の連携・統合、大学・産業界・自治体の恒常的な連携など）

III 地域産業の現状

◇地域産業を取り巻く環境

- ・新たな価値の創造の必要性
- ・人手不足の深刻化、人材の定着困難
- ・能力開発の必要性

（基礎的・汎用的能力、経営者の育成、マーケティング、安全管理、全体を見る能力）

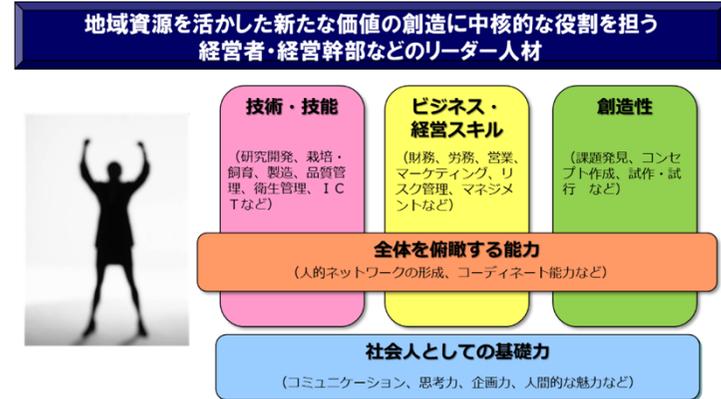


◇経営者ヒアリング（平成29年2月～11月、農業・製造業・小売業など14名）

- ・新たな価値の創出を志向
- ・30代などの若手中心に次世代の経営者・経営幹部を育成
- ・コミュニケーション、財務、人事労務、営業、マーケティング、創造性などの総合的能力
- ・人材育成の時間的な制約、指導者の確保などが課題
- ・大学には、食に関するエキスパートの輩出、現場と連携した実践的な教育を期待

IV 取り組みの方向性

◇地域発展に特に重要な人材像



◇短期的な取組項目（強みを活かす）

■食品安全管理のスペシャリスト養成

- ・HACCP義務化、大手との取引等に向けた認証取得の必要性
- ・指導者・支援者の不足、支援ニーズの増大への対応

HACCP義務化への対応

各企業の専門人材の育成

指導者・支援者の育成

地域の推進体制の構築



認証取得施設を活用した実践的な教育訓練

■地域連携による国際水準の獣医師養成

- ・獣医師の役割の高度化、公務員獣医師・産業動物獣医師の不足
- ・獣医学教育の国際水準化に向けた学外実習の充実など

学外実習の受け入れ拡大等

受入機関等への研修

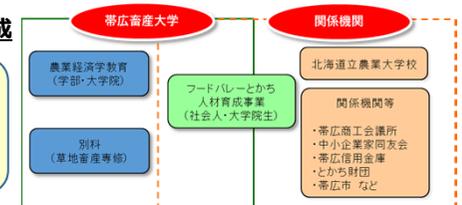
就業に向けた働きかけの強化

◇中長期的な検討項目（伸びしろを伸ばす）

■アグリ・フードビジネスのマネジメント人材養成

- ・高付加価値化・販路拡大等を担う人材が必要
- ・管内の取り組みの整理や体系化が必要

調査研究の実施



◇今後に向けて

- ・人材の活躍の場・環境づくり
- ・高等教育機関の充実
- 大学と地元企業等による共同研究の促進などを検討
- 高等教育整備基金の活用も視野に多角的に検討